



所在地 新潟県柏崎市東原町12番地2
 代表者名 太田 正昭
 電話番号 0257-24-1511
 F A X 0257-24-1512
 U R L <http://www.e-house.co.jp/ota-zaimokuten/>
 E - m a i l otazaimokuten@ca.wakwak.com
 設立年月日 昭和39年3月2日
 資本金額 1,000万円
 従業員数 17人
 業 種 木材・木製品製造業
 得意分野等 注文建築と県産材を中心とする製材事業の連携

テーマ

建築製材品トレーサビリティ導入事業

目的

ユーザーに安心・安全な建築用材を使って頂くことを目的に、立ち木が伐採されてから市場に出るまでの履歴と材の曲げ性能や含水率、色つや、等級等の情報を、直接木肌にトレーサビリティ表示する、革新的な新展開の事業創造に必要な設備投資を行う。

事業の内容

■事業取組みの経緯

県産材（主に越後杉）は他県材と比較し、木地の色合いの点で若干問題はあるにしても、材質の点では他県材と比較しても遜色はない。特に厳しい自然環境と深雪に耐え抜いたことによる強度と粘りは他県材よりも優れているといえる。しかし、県産材の評価は決して高くない。他産地のブランド化された材に比べ、競争力は残念ながら太刀打ちできない状況にある。ブランド化された他県材と肩を並べるために、立ち木が伐採されてから市場に出るまでの履歴、材の曲げや含水率、色つや、等級等を直接木肌に一括表示（以下「トレーサビリティ」という）することを以って、県産材の差別化とブランド化を図り、弊社の県産材の販売拡大を実現し、建築業と並存する製材事業の売上高を進展させようとするものである。

■実施内容

越後杉製材品の売上を拡大するため、弊社の製材品にトレーサビリティを導入し、他県材との差別化を図り、販売促進を企図するものである。既に実施している表示方法は、透明フィルムに印刷したものをカットし、1本1本に手作業で貼り付けている為、大変手間のかかる作業となっていた。その為、トレーサビリティの印字機械としてインクジェットプリンターを導入し、直接木肌に印刷をした。



従前の表示方法



導入したインクジェットプリンター

事業の成果

■事業取組みの成果

ブランド化された他産材と肩を並べるためには、県産材を使用するユーザーから喜んでいただける付加価値（トレーサビリティ等の「見える化」）を創造し、他産材との差別化を図ることによって県産材の利用促進が期待できると共に、販路の拡大が期待できることを確信した。

直接木肌にトレーサビリティ等を表示する革新的な試みにより、越後杉の販路の拡大に伴い、県産材の評価の見直しとともに、国産材全体を見直す空気が醸成されることが期待できる。

当該サービスであるトレーサビリティ等の「見える化」は既に実施（透明フィルムに印刷したものをカットし、1本1本に手作業で貼り付けている。）しているが、インクジェットプリンターを導入したことで1/3の時間で表示が出来、格段に作業効率が向上した事と、同一の場所に印字することが出来たので、見た目にも美しく「見える化」する事が出来た。

県産材の需要拡大のPR効果もあり、4月～7月の建築製材品の売上は、昨年比 約5%の伸びがあり、特に柱（越後長次郎杉）は追加注文を頂いており、在庫が出来ない状況が続いている。



インクジェットプリンターで印字

■その他（製品等の内容、今後の活動予定、販売計画等）

直接木肌にトレーサビリティ等を印字することと同時にQRコードの印刷を行った。現時点では、弊社のホームページへ案内をするに留まっているが、将来的には、QRコードからこの建築製材品のより詳しい情報を確認することが出来るサービスを計画している。また、ITの利活用も検討しており、この製材品の産地の画像や、位置情報とのリンクも考えている。